



三原市長
五藤 康之

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より市政にお寄せいただいておりますお力添えに対し、心からお礼を申し上げます。

本市は、合併5年目を迎えます。本年は、合併後4年間の経過の上に、三原らしさを求め、「元気で明るく希望の持てるまち三原」を目指して、誰もが健康で、安心・安全に暮らせるまちづくりを進め、それぞれの地域の均衡ある発展と、人々の交流が盛んな活力あるまちづくりに取り組んでまいります。

主な施策としては、「人を育む教育・文化のまち」を目指し、「受けてみたい！三原で教育を！」をキャッチフレーズに、皆様に信頼され、全国に誇れる三原の教育に取り組めます。また、市民と行政がそれぞれの役割を理解し、知恵と力を合わせ、協働のまちづくりを推進します。また、誰もが住み慣れた地域で健やかに暮らせるよう、子育て支援や、高齢者の健康づくりの支援などを行い、保健・医療・福祉の連携の取れたまちづくりを推進します。また、災害に強い安全なまちづくりのため、公共施設の耐震診断と耐震補強を行います。

次に、本市の陸・海・空の交通の利便性を最大限に生かすべく、三原バイパスの平成20年代前半の一日も早い全線開通への取り組み、木原道路、三原東城線・恵下谷バイパスなど交通基盤の整備促進に重点的に取り組むとともに、産業の振興を推進します。また、農業につきましても、農業振興ビジョンを策定し、しっかりと将来を見据えた農業の振興を図ります。

次に、中心市街地活性化にも重点的に取り組むとともに、中山間地・離島の活性化事業を行い、交流人口を拡大しながら、定住促進につながる取り組みを行います。また、本市の豊かな自然を守り、環境に優しい、美しいまち三原を次世代に残すための事業も推進します。

現在、我が国の経済は、世界的規模の金融不安などにより、厳しい局面に置かれ、本市におきましても、市財政は厳しい状況にあります。将来の三原を見据えた施策を着実に実施し、皆様の期待に応えるべく全力投球いたします。

これらの取り組みにあたっては、広く皆様方の知恵と力をお借りし、活力と魅力ある三原のまちづくりを着実に進めてまいりますので、今後とも、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新しい年が皆様にとって、幸多い年となりますようお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ





三原市議会議長
真 嶋 智

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

現在、我が国は、本格的な少子・高齢化時代に突入している中、昨年からの金融不安などにより、国内の景気は後退しており、失業者が増加するなど先行き不安定な経済情勢が続いています。

三原市においても、景気の悪化により産業面では勢いが減少しており、特に中小企業は厳しい状況が続いております。こうしたことから、昨年12月の市議会定例会において中小企業等の緊急的な支援策を含め、補正予算を議決したところであります。今後も引き続き、景気対策について国への働きかけを強めてまいります。

一方、地方自治体を取り巻く状況も、予断を許さない財政状況であり、また国が進める「地方分権の推進」により100件を超す事務が県から既に権限委譲されているなど、基礎自治体としての権限も増大すると同時に、ますます責任の度合いも重くなっております。

市民の皆様の福祉の充実・市民の安全を第一に考えた生活環境の整備や都市基盤の整備は、引き続き速やかに推進しなければなりません。また本市が持つ自然・歴史・文化など優れた特性を生かし、持続可能で魅力にあふれ将来を展望するまちづくりを実現していくことが求められております。

そのためには、市政に携わる者が一丸となり英知を結集し、さらには市民協働のまちづくりを推進し、一体となつてまちづくりを展開することが大切であります。

市議会としても、市民ニーズを的確に把握して市政に反映させていかなければならないと考えております。また、各種施策に対するチェック機能や政策提言など市議会が果たす役割がますます重要になってまいります。

私どもは開かれた市議会を目指して研さんを積み、市民の負託に応えるべく決意を新たにいたしておりますので、何とぞ本年もよろしくお願ひ申し上げます。年頭にあたり、三原市のさらなる発展と市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。